

## 2011年4月1日～2021年12月31日の間に 当科において肺炎の治療を受けられた方及びご家族の方へ

### 「肺炎球菌性肺炎における胸部画像の解析」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学総合医療センター 内科シニアレジデント 小山 勝正  
研究分担者 川崎医科大学総合内科学1 教授 友田 恒一  
川崎医科大学総合内科学1 准教授 白井 亮

#### 1. 研究の概要

わが国では高齢社会を背景に肺炎は増加し、死因の第3位を占めるようになってきています。その中でも肺炎球菌性肺炎は細菌性肺炎の原因として最も頻度が高く、重要な肺炎の一つです。当院で肺炎球菌性肺炎の治療を受けられた患者さんの画像所見と臨床経過を調べることで肺炎球菌性肺炎の特徴を明らかにし今後のより有用な診断や治療について検討したいと考えています。

#### 2. 研究の方法

##### 1) 研究対象者

2011年4月1日から2021年12月31日までに旧川崎病院および川崎医科大学総合医療センターで肺炎球菌性肺炎の治療を受けられた方約100名を研究対象とします。

##### 2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026年3月31日

##### 3) 研究方法

2011年4月1日から2021年12月31日までの間に旧川崎病院および川崎医科大学総合医療センターにおいて肺炎の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに検査に関するデータを選び、画像パターンの解析や入院患者さんの特徴などに関する分析を行い、肺炎球菌肺炎の画像所見の多様性の病態等について調べます。

##### 4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、治療歴、検査データ、画像データ、等

##### 5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合内科学1医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します

## 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年1月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

### <問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 内科

氏名：小山 勝正

電話：086-225-2111

E-mail：lutecia.717@gmail.com

## 3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究に関する利益相反の有無および内容について川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。